

2023年9月12日

報道関係者各位

SBI いきいき少額短期保険株式会社
[関東財務局長（少額短期保険）第8号]

<9月20日～26日は動物愛護週間>

犬・猫の“マイクロチップ”に関するアンケート調査を実施（第3回）

改正動物愛護管理法の施行から1年経過、マイクロチップの認知度・装着率ともに向上

SBI いきいき少額短期保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：採田 祐治、以下「当社」）は、“マイクロチップ”に関するアンケート調査（第3回）を実施し、犬・猫の飼い主1,000名の方から回答を得ました。

本調査は、施行から1年が経過した「改正動物愛護管理法」（2022年6月施行）によって販売用の犬・猫へのマイクロチップ装着が義務化、一般の飼育者については努力義務となったことについて、飼育者の意識の変化を調査したものです。概要は以下の通りです。

【調査結果のまとめ】

今回の調査では、マイクロチップの認知度、装着率がともに向上していることがわかりました。一方で装着義務化への反対意見として、装着後のペットの状態が心配、かわいそうという考えも見受けられました。

9月20日～26日の「動物愛護週間」をきっかけに、家族の一員であるペットとの暮らし・かわり方についてあらためて考える機会を設けてみてはいかがでしょうか。

◆アンケート調査結果のサマリー [別紙参照ページ]

- 犬・猫飼育者におけるマイクロチップの認知率は97.1%（2022年より1.9ポイント上昇）
[別紙 P.1]
 - ▶ ペット販売業者へのマイクロチップ装着義務化の認知率は66.4% [別紙 P.2]
 - ▶ 一般飼育者へのマイクロチップ装着努力義務の認知率は56.9% [別紙 P.2]
- マイクロチップ装着義務化への賛成は75.5%（2022年より2.5ポイント上昇）
 - ▶ 賛成の理由で最も多いのは「迷子になったときの身元確認が容易になる」83.2% [別紙 P.4]
 - ▶ 反対の理由で最も多いのは「装着後のペットの状態が心配」56.7% [別紙 P.4]
- 現在マイクロチップを装着している飼育者は45.9%（2022年より15.3ポイント上昇）
 - ▶ 装着のきっかけで最も多いのは「飼ったとき（購入・譲渡時）に装着済み」58.3%
「迷子になった時の身元確認が容易になる」は41.4% [別紙 P.7]
 - ▶ マイクロチップ未装着の飼い主の今後の意向、最も多いのは「装着する予定はない」が57.0% [別紙 P.8]

● マイクロチップで実現したら良いと思うもの第1位は「GPSがつけられる」51.6%

- ▶ 2022年と比べて「健康管理ができる（41.9%）」「装着に際して補助金やペット保険の適用が受けられる（37.6%）」など、ペットの健康にまつわる項目いずれもポイントが上昇した。[別紙 P.9]

◆マイクロチップとは

犬や猫に埋め込むマイクロチップは、直径1~2mm、長さ8~12mm程度の円筒形の電子標識器具です。飼い主の情報と照合できる15桁の番号が記録されており、全国の動物保護センターや保健所、動物病院にて、専用の読み取り機でデータを読み取ることができます。マイクロチップは、通常より少し太めの専用の注射器で、獣医師によって犬や猫の首の後ろの皮下に埋め込みます。費用は数千円~1万円程度です。マイクロチップは全体を生体適合ガラスやポリマーで覆われているため、副作用はほとんどなく、一度装着をすれば半永久的に使用可能です。装着後はデータベースへの登録が必要です。

◆アンケート調査の概要

項目	内容
タイトル	“マイクロチップ”に関するアンケート調査
調査期間	2023年8月18日~8月19日
調査対象	犬もしくは猫を飼育している全国の20歳以上の男女
調査方法	インターネットリサーチ
有効回答数	1,000名（犬のみ飼育者500名、猫のみ飼育者500名）
実施会社	株式会社ジャストシステム

※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。

【会社概要】

- 会社名 : SBIいきいき少額短期保険株式会社
- 会社紹介 : 当社は、東証グロース市場上場「SBIインシュアランスグループ(株)」のグループ会社です。「シンプルでわかりやすく」「保険料は手ごろに」という、お客さまのご要望に応える保険商品を開発・提供しています。死亡保険、医療保険はシニア層を中心に、ペット保険は犬・猫の病気やケガが気になる飼い主さまに、幅広く支持されています。万が一の地震に備える地震補償保険で皆さまの暮らしをサポートします。
- 所在地 : 東京都港区六本木1-6-1
- 設立年月日 : 2007年7月3日
- 資本金 : 36,000千円
- 事業内容 : 少額短期保険業（販売商品：SBIいきいき少短の死亡保険、SBIいきいき少短の医療保険、SBIいきいき少短の持病がある人の死亡保険、SBIいきいき少短の持病がある人の医療保険、SBIいきいき少短のペット保険、SBIいきいき少短の地震の保険）
- URL : <https://www.i-sedai.com>

【お問い合わせ先】

SBI いきいき少額短期保険株式会社 経営企画部 企画グループ
TEL : 03 (6856) 4536 / E-MAIL : ikiiki_pr@i-sedai.com

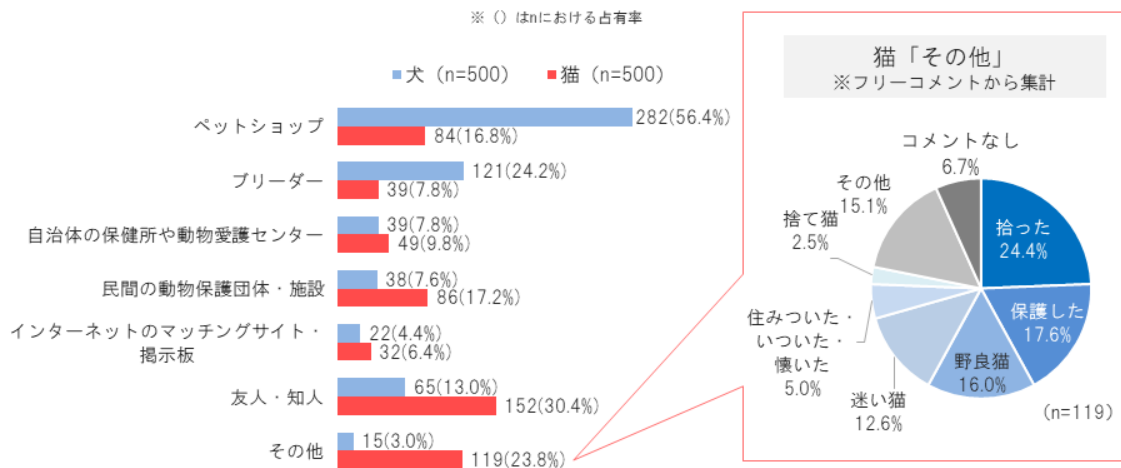
【別紙】第3回“マイクロチップ”に関するアンケート調査 結果の詳細

※比較対象となっている調査結果の発表時期…2022年4月発表、2019年8月発表

①飼育しているペット（犬・猫）を迎え入れた方法

- 迎え入れた方法は、犬は「ペットショップ（56.4%）」、猫は「友人・知人（30.4%）」が最多。
- 猫の「その他（23.8%）」では、「拾った」「保護した」といった声が多くみられた。

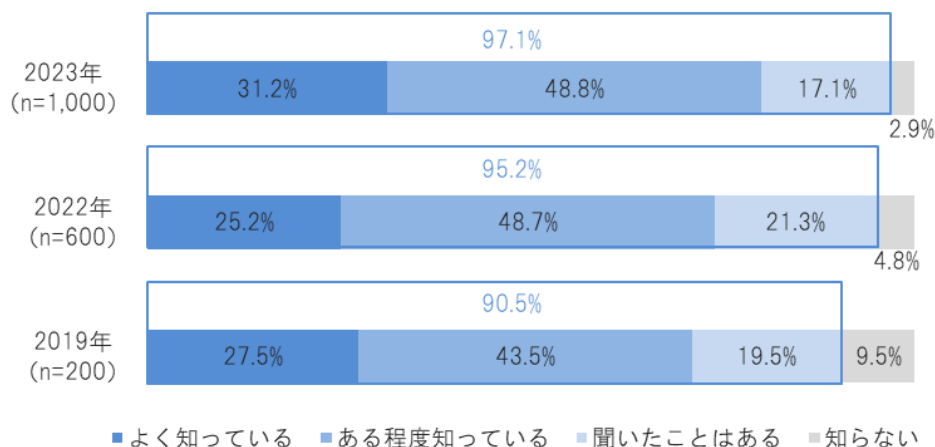
現在飼っているペットをどこを通じて迎えたか教えてください。[複数回答]



②犬・猫飼育者におけるマイクロチップの認知率

- マイクロチップの認知率は「聞いたことはある」を含めると97.1%となった。2019年、2022年と比べて、認知率が向上している傾向がみえた。

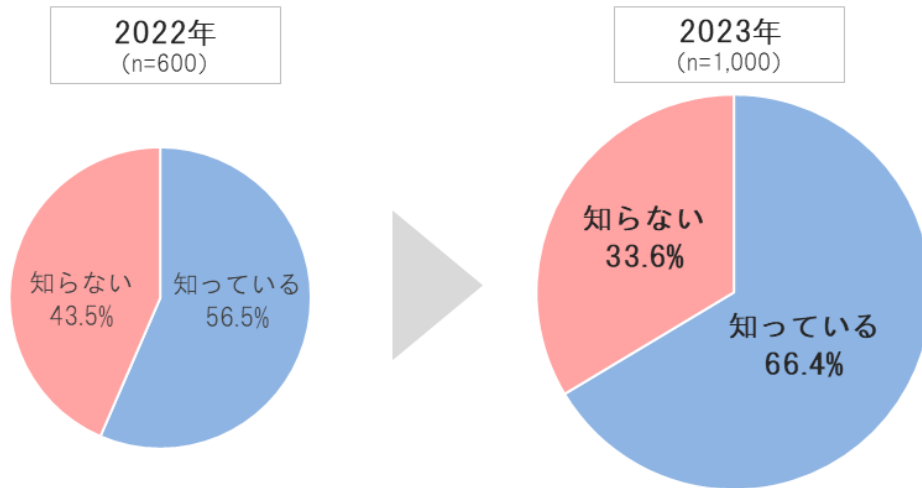
犬や猫の飼育において、飼い主を判別するための「マイクロチップ」というものがあります。「マイクロチップ」について知っていますか？ [単数回答]



③ 「ペット販売業者へのマイクロチップ装着義務化」の認知率

- 2022年6月に改正動物愛護管理法が施行され、犬と猫の販売業者・繁殖業者に対してマイクロチップの装着が義務化されたことを知っているか聞いたところ、66.4%が「知っている」と回答した。2022年と比べて9.9ポイント上昇した。

改正動物愛護管理法の施行により、2022年6月から犬や猫の販売業者・繁殖業者（ブリーダー）に対してマイクロチップの装着が義務化されたことを知っていますか？ [単数回答]

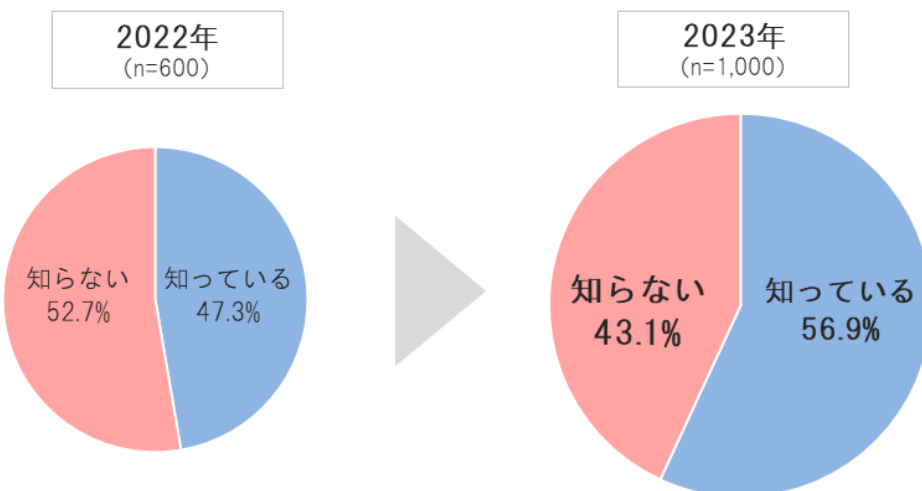


SBI いきいき少短

④ 「一般飼育者へのマイクロチップ装着努力義務」の認知率

- 2022年6月に改正動物愛護管理法が施行され、犬・猫の一般飼育者に対してはマイクロチップ装着が努力義務になったことを知っているか聞いたところ、56.9%が「知っている」と回答した。2022年と比べて9.6ポイント上昇した。

改正動物愛護管理法の施行により、すでにペットとして犬・猫を飼っている一般の飼育者にはマイクロチップの装着が努力義務として課せられましたが、知っていますか？ [単数回答]

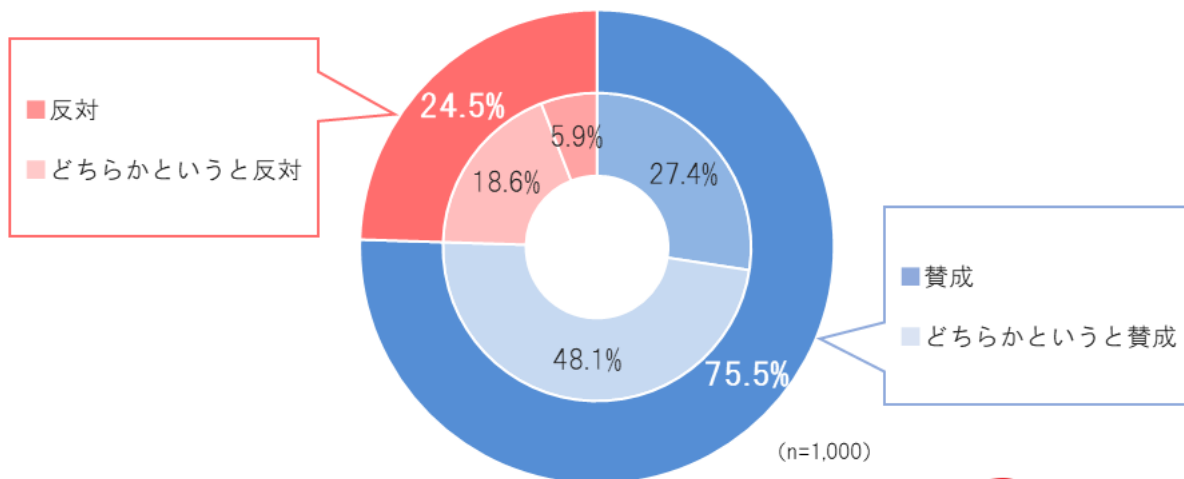


SBI いきいき少短

⑤マイクロチップ装着義務化への「賛成」「反対」について

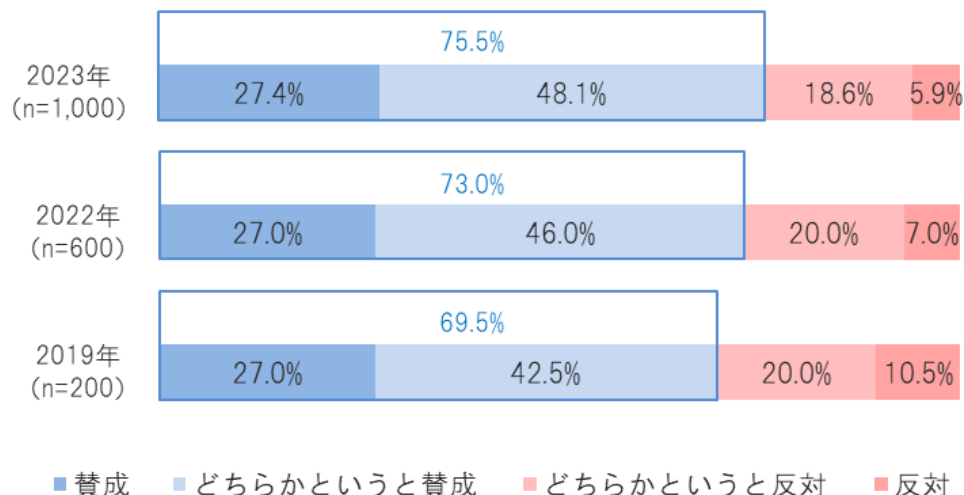
- マイクロチップ装着義務化について賛成か反対か聞いたところ、「賛成 (27.4%)」「どちらかという賛成 (48.1%)」が合わせて 75.5%となった。

あなたはマイクロチップの装着義務化に賛成ですか、反対ですか？ [単数回答]



- 過去 3 回の調査結果をみると、「賛成 (どちらかというとを含む)」が増加傾向となった。

あなたはマイクロチップの装着義務化に賛成ですか、反対ですか？ [単数回答]

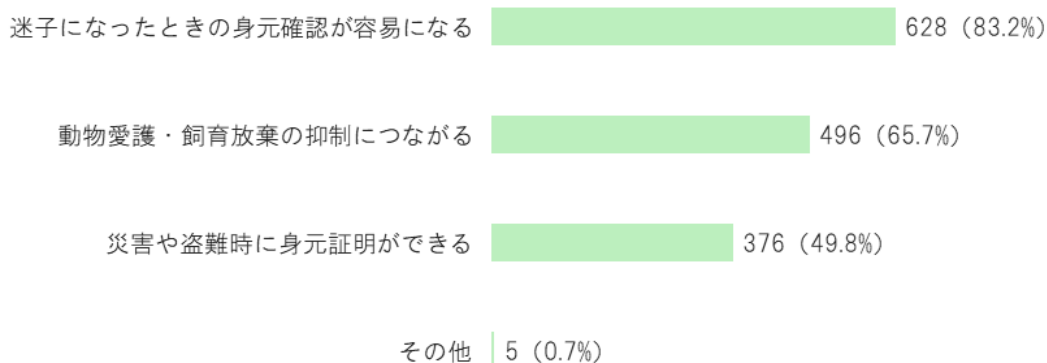


⑥ マイクロチップ装着義務化「賛成理由」

- マイクロチップ装着義務化に「賛成（どちらかというを含む）」と回答した方に「賛成の理由」を聞いたところ、「迷子になったときの身元確認が容易になる（83.2%）」が最も多かった。
- 「動物愛護・飼育放棄の抑制につながる（65.7%）」も過半数となった。

（マイクロチップの装着義務化に「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した方にうかがいます）
賛成の理由を教えてください。〔複数回答〕

※（）はnにおける占有率



(n=755)

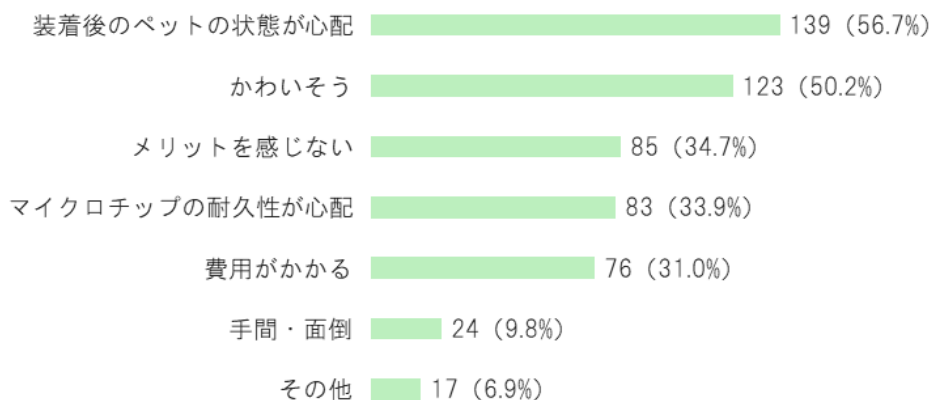


⑦ マイクロチップ装着義務化「反対理由」

- マイクロチップ装着義務化に「反対（どちらかというを含む）」と回答した方に「反対の理由」を聞いたところ、「装着後のペットの状態が心配（56.7%）」が最も多かった。

（マイクロチップの装着義務化に「反対」「どちらかといえば反対」と回答した方にうかがいます）
反対の理由を教えてください。〔複数回答〕

※（）はnにおける占有率



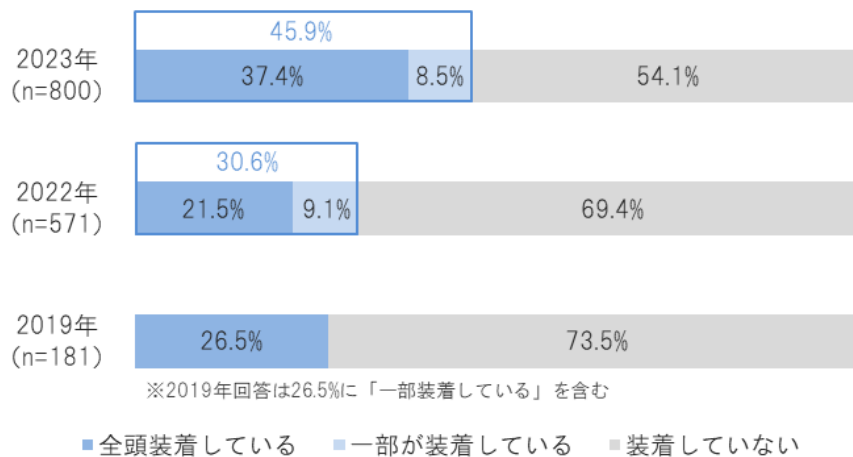
(n=245)



⑧飼育しているペットの「マイクロチップ装着の有無」について

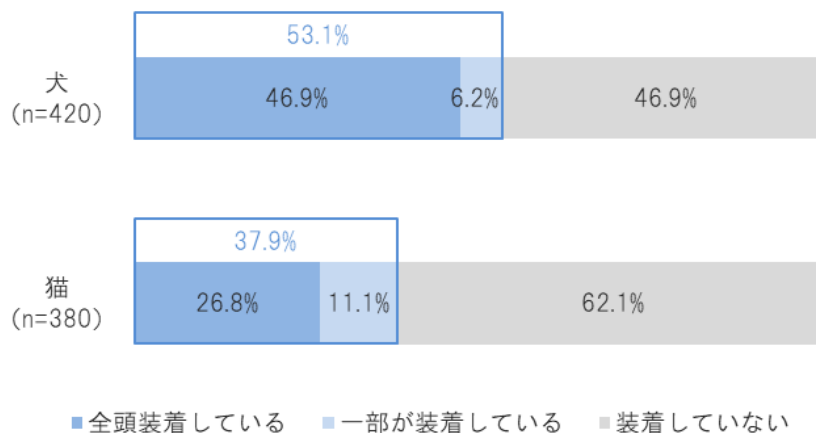
- マイクロチップを認知している飼育者に、現在飼育しているペットへのマイクロチップの装着状況を聞いたところ、45.9%が「装着している（「一部が装着している」を含む）」と回答した。
- 2019年、2022年と比べて「装着している（「一部が装着している」を含む）」が増加傾向となった。

（マイクロチップについて「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した方にうかがいます）
あなたが飼っているペットにはマイクロチップを装着していますか？ [単数回答]



- 犬は猫と比べて装着率が15.2ポイント高い結果となった。

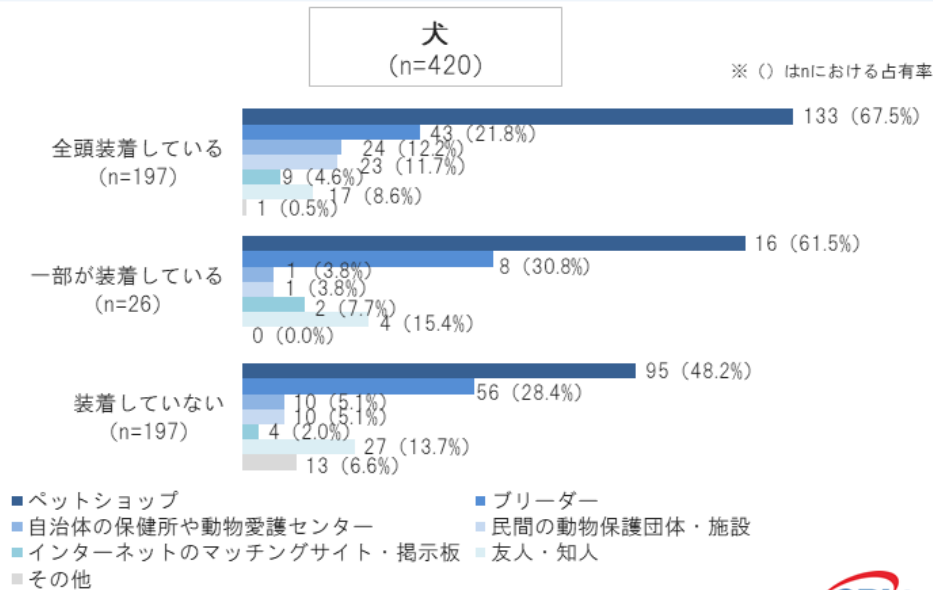
（マイクロチップについて「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した方にうかがいます）
あなたが飼っているペットにはマイクロチップを装着していますか？ [単数回答]



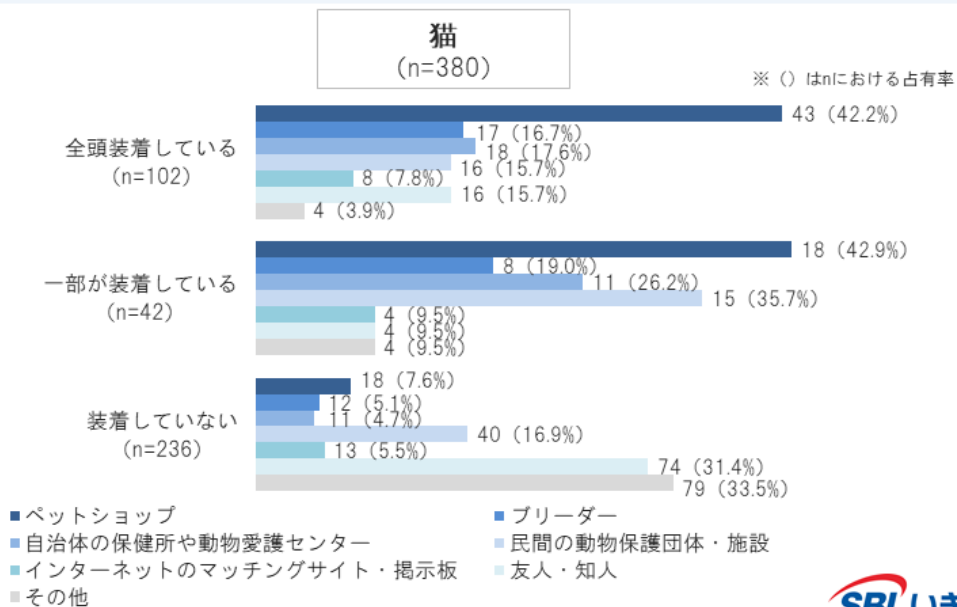
- 『マイクロチップの装着状況』と『ペットの迎え入れ方法』でクロス分析した結果、犬はいずれにおいても「ペットショップ」が最も多く、猫は「装着していない」と回答した方では「その他（33.5%）※」が最も多かった。犬と猫で、迎え入れた方法による装着状況の違いがみえた。

※別紙 P.1①参照…「拾った」「保護した」「野良猫」「迷い猫」の合計が約7割

マイクロチップの装着状況 [単数回答] × ペットの迎え入れ方法 [複数回答]



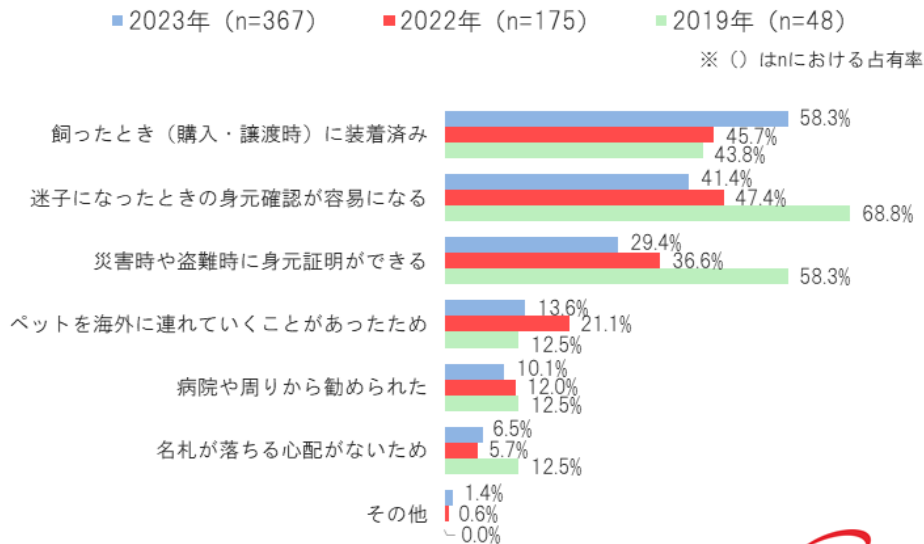
マイクロチップの装着状況 [単数回答] × ペットの迎え入れ方法 [複数回答]



⑨ マイクロチップ装着のきっかけ・目的

- マイクロチップを認知し、「マイクロチップを装着している」と回答した飼育者にきっかけを聞いたところ、「飼ったとき（購入・譲渡時）に装着済み（58.3%）」が最も多く、2022年と比べて12.6ポイント上昇した。

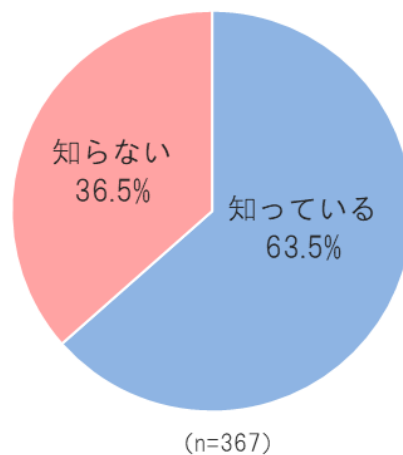
（飼っているペットに「マイクロチップを装着している」と回答した方にうかがいます）
 マイクロチップを装着したきっかけ・目的は何ですか？ [複数回答]



⑩ マイクロチップの登録情報をオンライン変更について

- マイクロチップを認知し、ペットにマイクロチップを装着している飼育者に、マイクロチップの登録情報をオンラインで変更できることを知っているか聞いたところ、63.5%が「知っている」と回答した。

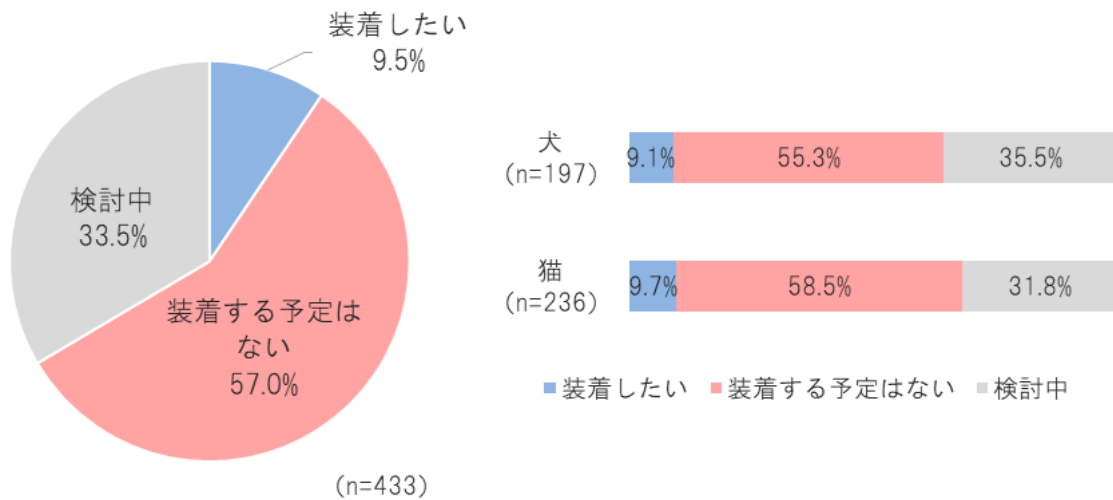
（マイクロチップを認知し、ペットに「マイクロチップを装着している」と回答した方にうかがいます）
 マイクロチップに登録している情報の変更を
 パソコンやスマートフォンからオンラインで行えることを知っていますか？ [単数回答]
 ※住所・電話番号・姓が変わった場合など、登録事項に変更が生じた場合、
 30日以内に登録事項の変更が必要です。



⑪ ペットがマイクロチップ未装着の飼い主の今後の装着意向について

- マイクロチップを認知しているが、「マイクロチップを装着していない」と回答した飼育者に今後の装着意思について聞いたところ、「装着する予定はない（57.0%）」が過半数となった。

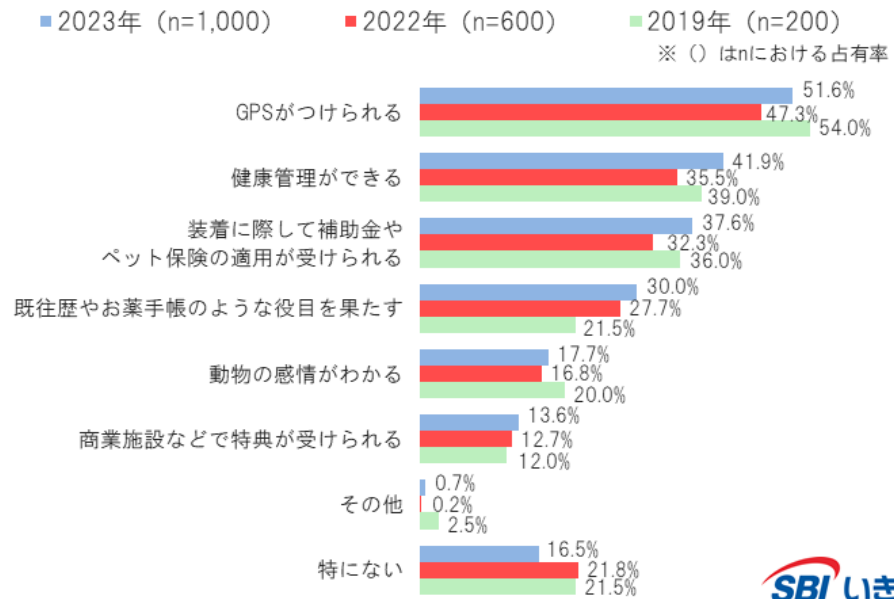
（飼っているペットに「マイクロチップを装着していない」と回答した方にうかがいます）
 マイクロチップの装着が努力義務となりましたが、
 今後、装着される意向の有無を教えてください。 [単数回答]



⑫ マイクロチップで実現したら良いと思うこと

- マイクロチップで実現したら良いと思うことを聞いたところ、「GPS がつけられる (51.6%)」が最も多い。
- 2022 年と比べ「実現したら良いと思う」のポイントがすべての項目で上昇し(「その他」「特にない」を除く)、マイクロチップの活用に対する期待感がみられた。

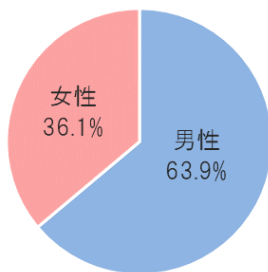
今後マイクロチップに関して、実現したら良いと思うことは何ですか？ [複数回答]



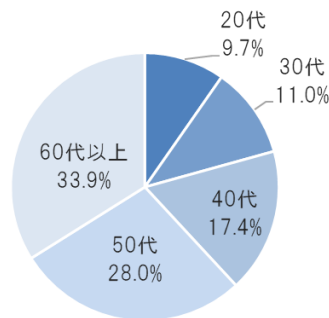
以上

■ アンケート回答者属性

【1】 男女別の割合 (n=1,000)



【2】 年齢別の割合 (n=1,000)



※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。